

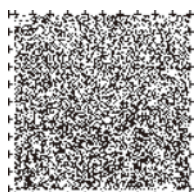


みんなの議会



☆☆千曲市のきらきら星☆☆ 躍動する市内2校の高校生たち

11月30日、みんなの街まちフェスタ2024（於：千曲市市民交流センターてとて）では屋代高校ダンス班のエネルギッシュでキュートなダンスが繰り上げられました。12月14日、屋代南高校の作品・学習発表会（於：信州の幸あんずホール）では生徒たちが一丸となつて取り組んできた経過と作品の数々が披露されました。



（音声コード）

12月定例会	2
討論	5
一般質問	6
委員会視察報告	15

令和6年度一般会計補正予算 (第5号)繰越明許費について

- A Q** 常計画と実施を比較し、業務調整を行い、遅滞が生じないよう努めている。また、地元住民との交渉等は議事録を作成し課題を共有、工事に伴う進捗状況の共有を図り、極力繰越しとならないよう努めていく。
- A Q** 繰越しにより事業に遅れは生じないか。
完了目標年度を定め、精査・調整を行い、遅れが生じないよう努めている。
- A Q** 関係機関や地元住民等との調整について、進捗管理の体制は十分だったか。
- A Q** 専任職員はなく、一人の職員が複数事業を兼任している。関係機関との協議等に時間を要する案件は、工夫しながら時間短縮を図れるよう事業推進に努めている。
- A Q** 予算成立後、適切に事業を進める体制はあったか。
18億7500万円、13事業を繰越しにする理由を伺う。
- A Q** 関係機関との協議に不測の日数を要したものが大半である。

「自治体は毎会計年度の歳出予算は、これを翌年度に使用することができない」と地方自治法第220条第3項で決められている。ただし、繰越明許費として議会の議決を得た場合は翌年度に使うことが認められている。繰越しできるのは、性質上その年度内に支出が終わらない見込みの事業と、予算成立後の事由に基づき年度内に終わらない事業の2点である。



柳澤 真由美



動画

令和6年12月定例会

千曲市のこんなことが決まりました。

■会期 25日間(11月26日～12月20日)

12月定例会では、千曲市一般会計歳入歳出決算を含む議案28件と、請願1件を審議しました。賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、千曲市議会ホームページの「議会日程」の中で公表しています。



議会日程

議案審議結果

採決結果：◎全会一致で可決・認定・同意 ○賛成多数で可決・認定・採択

議案番号	件名	結果
専決第6号	専決処分事項報告について(令和6年度千曲市一般会計補正予算(第4号))	◎
議案第63号	令和5年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について	○
議案第64号	令和5年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○
議案第65号	令和5年度千曲市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第66号	令和5年度千曲市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第67号	千曲市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例制定について	◎
議案第68号	千曲市組織条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第69号	千曲市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第70号	千曲市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第71号	千曲市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第72号	千曲市地域包括支援センターの包括的支援事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第73号	令和6年度千曲市一般会計補正予算(第5号)の議定について	◎
議案第74号	令和6年度千曲市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議定について	◎
議案第75号	令和6年度千曲市介護保険特別会計補正予算(第2号)の議定について	◎
議案第76号	令和6年度千曲市下水道事業会計補正予算(第2号)の議定について	◎
議案第77号	令和6年度千曲市水道事業会計補正予算(第2号)の議定について	◎
議案第78号	令和5年度旧更埴庁舎解体工事変更請負契約の締結について	◎
議案第79号	令和6年度千曲市更埴文化会館スプリングラー及び特定天井改修事業建築主体工事変更請負契約の締結について	◎
議案第80号	千曲市健康プラザの指定管理者の指定について	◎
議案第81号	更埴体育館外5施設の指定管理者の指定について	◎
議案第82号	千曲市総合観光会館の指定管理者の指定について	◎
議案第83号	市道路線の認定について	◎
議案第84号	市道路線の変更について	◎
議案第85号	大田原横手辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	◎
議案第86号	千曲市教育委員会委員の任命について	◎
議案第87号	千曲市農業委員会委員の任命について	◎
議案第88号	令和6年度千曲市循環バス「上山田線」車両購入契約の締結について	◎
議会第12号	戦没者の遺骨を含む土砂を採掘し、辺野古新基地などの埋立てに使用しないよう求める意見書(案)	○ (修正可決)

請願審議結果

議案番号	件名	結果
請願第5号	沖縄戦没者の遺骨を含む土砂を採掘し辺野古新基地へ使用しないよう求める請願	○

A

Q

A

Q

「子どもまんなか宣言」により、「すべての子どもが幸せに暮らせる千曲市」を目指すことから、こどもの育ちを一体化し、出生から義務教育までの連携強化を図るため。

教育委員会事務局に「こども・教育部」を移管・設置する目的は。

観光を軸に、スポーツと文化の融合による交流人口の拡大を目的とする。

「文化観光スポーツ部」新設の目的は。

令和7年度組織改編(主な変更点)

《令和6年度》	《令和7年度》
次世代支援部(廃止)→②へ	経済部
こども未来課	商工課(名称変更)
保育課	①文化観光スポーツ部(新設)
経済部	観光課
産業振興課	文化課
観光課→①へ	歴史文化財センター
日本遺産推進室(移管)	スポーツ課(名称変更)
教育委員会事務局	国スポ・全障スポ推進室(新設)
教育部	教育委員会事務局
文化課→①へ	②こども・教育部(名称変更)
歴史文化財センター→①へ	こども未来課
スポーツ振興課→①へ	保育課

総務
常任委員会

Pick
up

1

令和7年度に実施する組織改編のねらいと主な改編について

「千曲市組織条例の一部を改正する条例制定について」が可決され、令和7年度から市の組織が改編される。

討論

このような理由で賛成・反対しました。

令和5年度一般会計決算認定 採決結果：認定

令和5年度決算は、実質収支の黒字や将来負担比率の改善が見られるが、経常収支比率・実質公債費比率など各財政指標では不安の残る数字となっている。しかしながら、厳しい財政状況であることを十分に考慮したうえで、公共施設の統廃合推進などの着実な行政改革を進めつつ、経済・防災対策の市民の安全安心を守る事業や、保育施設整備・地域クラブ活動体制整備など子育て世代に向けた事業、事業化が決定した屋代SIC整備事業など自主財源涵養策と、必要な事業を必要時期に取り組んでいることも事実である。財政状況に市民の注目も高まる中、不安を払拭できるような丁寧な財政運営と各事業の推進に期待を込めて、本決算認定に賛成する。



賛成
林 慶太郎

令和5年度一般会計決算では経常収支比率94・9%と昨年度より、2.5ポイント増である。①強引なマイナ保険証の強要ではなく、紙の保険証と併用すべきことから反対。②八幡の競輪場外車券売場から千曲市に環境整備事業基金積立金として約400万円、3年間で約1200万円が計上されている。場外車券売場の収益の減少から、市の整備事業基金への積立率は0.5%から0.4%に削減された。周辺自治区への還元金も減少している。千曲市にギャンブル場はいらないとの立場から反対。③国民健康保険特別会計への繰り出しが、事務費等の2610万円あるが、これは赤字補填のためであり、国保税を引き下げるための一般会計からの繰り出しがないことから反対する。

※③の理由から、国民健康保険特別会計決算認定についても反対討論を行った。



反対
前田きみ子

戦没者の遺骨を含む土砂を掘し、辺野古に埋立てないよう求める意見書（案）
採決結果：修正案可決

※社会文教常任委員会から提出された【原案】に対して、和田英幸議員・荻原光太郎議員・林慶太郎議員の3名から【修正案】が提出され、討論、採決が行われました。

和田議員が委員長報告への質疑で触れたように、普天間飛行場は「世界一危険な飛行場」と言われ、早期に辺野古へ移設することが望まれている。意見書の趣旨に「辺野古新基地の建設を進めるに当たり」と追加することで、早期の移設建設を求める意思を表すことができる。



賛成
荻原光太郎

【修正案】
原案は、普天間飛行場の辺野古移設に賛成の人も反対の人も賛同できる内容だ。しかし修正案は、新基地の辺野古移設賛成と明確にしており、これでは辺野古移設反対の人は賛成できなくなる。大勢の人が賛同できる内容が、少数の人の賛同にとどまってしまふ。賛同する人を狭めるような修正案には反対し、原案に賛成する。



賛成
中村 恒彦

Pick up 2

更埴体育館外5施設の指定管理者が選定された

社会文教 常任委員会

指定管理者は、現在千曲市余熱利用施設（ReSPA シンコースポーツ）を管理しているシンコースポーツ株式会社（東京都）である。
対象6施設は、更埴体育館、勤労者体育センター、東部体育館、更埴テニスコート、東部テニスコート、千曲市弓道場である。

Q

5年間（令和7年4月～令和12年3月）の指定管理費用はどれほどか。

A

債務負担行為補正で限度額3億3243万7千円を計上。

◎シンコースポーツ株式会社の会社概要と「事業計画書」から運営方針等を抜粋。

○主な業務…PPP・PFI推進事業・健康づくり事業・運営受託事業等。

○事業規模…全国600施設、県内では南長野運動公園を含む12施設を管理運営。

○運営方針…市の総合計画とスポーツ推進基本計画に沿って効果的な施設の活性化、自主事業、プロスポーツの開催のほか、令和10年に開催予定の国民スポーツ大会での連携や新戸倉体育館の建設に係る支援も行う計画。

※PFI＝官民連携（PFI）の一形態で、民間の資金やノウハウを活用し、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営等を行う手法



更埴体育館（ことぶきアリーナ千曲）

Pick up 3

令和5年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

経済建設 常任委員会

令和4年度決算審査において監査委員からも指摘のあった、上山田温泉内の「水と緑と潤いのある公園」の土地借上料について、土地所有者との交渉に進展はあったのか。信州千曲観光局への交付金に対する財務管理に問題は無い。

Q

「水と緑と潤いのある公園」の土地借上料として年間328万1110円を支払っているが、値下げ交渉または土地購入の検討はしているのか。合併後の20年間だけでも約6560万円の支出をしている。

A

まずは値下げ交渉をしていきたい。

Q

観光局には年間3600万円の交付金を支出しているが、費用対効果を審査するなど財務管理をしっかりと行った上で指導をしているのか。

A

これまで企業会計決算書による総会資料を基に財務監査をしていたが、費用対効果を確認しやすい財務管理の資料作成に取り組むよう指導する。



水と緑と潤いのある公園



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

個人質問

市議会議員個人が、市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針について、答弁を求めるもの。

今定例会では、
16名の議員が質問しました。

千曲市議会公式YouTubeチャンネルで、一般質問の全ての内容を動画で視聴することができます。各議員の顔写真の下にある二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



議会公式チャンネル

千曲市議会YouTube

検索

ぜひご覧ください。
(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)

自由政策研究会 聖澤 多貴雄



動画

千曲市内に県立高校2校維持存続を求める署名活動について

署名活動の経緯は。

千曲商工会議所、戸倉上山田商工会が主導し、千曲市及び千曲市議会を構成団体とする「豊かな学びを育む会」を設立した。

署名活動の意義、目的、記入方法は。

市内に県立高校2校維持・存続を目指すこと。学びの場の確保。オール千曲の意思を示すことが大義である。市内外問わず署名欄に自署またはオンライン署名をし、令和7年2月28日までに返信する。

立地適正化計画改定について

立地適正化計画とは。

医療・福祉施設、商業施設や住居など交通対策も含め都市全体の構造を見直し、持続可能な地域社会を形成していくための土台となる計画。



「糸魚川-静岡構造線断層帯の地震(全体)」が発生した場合の震度分布図
(出典：千曲市防災ガイドブック)

計画に防災指針が求められ、水害のリスクに加えて地震対策はどうか。

千曲市西部には長野盆地西縁活断層があり、糸魚川-静岡構造線断層との連動で最大震度6強〜7が想定されることから防災施策の充実を図る。

新戸倉体育館の防災計画は十分か。

災害時の安全性の確保や避難所機能等の充実を要求水準書に計画している。

大正橋下流右岸堤防の安全性はどうか。

再び路肩変状が発生したが、以前の箇所の問題はなかった。今後縦排水管の設置、法面覆土や張芝の安全対策を実施する。

再

再

公明党

滝沢 清人



動画

気候変動に適応したまちづくりを

世界各地で気候危機による豪雨・大干ばつ災害が深刻の度を増している。世界気象機関(WMO)は、今年の世界平均気温が史上最高となり、平均気温が+1.54℃に達したと発表。2050年のゼロカーボンは絶対的必達目標だが、同時に適応策も待たないだ。全国の自治体を取り組むべき「地域気候変動適応計画」、本市においてもより実践的な計画策定を求める。

今後(令和8年度以降)策定予定の「第三次千曲市環境基本計画」に気候変動適応計画を包含し、より実践的な適応策を計画したい。

困難な時代、希望に満ちた『地域共生社会』実現を

超少子高齢化はじめ、孤独

一志会

宮下 繁明



動画

市の財政状況について

10月の市長選で小川市長は「市の基金は増えている。財政は健全である」としていたが、今後5年間で基金を103億円取り崩す計画は問題ではないのか。

実際の財政運営では決算剰余金に伴う基金積立金が発生するため残高が103億円減少するわけではない。過度な問題はないが収支の見通しを明確にし、安定的な財政運営に努める。

厳しい財政状況の中で「屋代開発」「総合運動公園」「防災拠点道の駅」等の大型事業を同時に進めることは無理がある。事業の縮減を含めた見直しをすべきではないか。

これらの事業について活用可能な財源や物価高騰を考慮し将来過度な財政負担とならないよう、規模や実施時期を見極めていく。

・孤立など、あらゆる困難な課題が同時に進行する中、「誰も置き去りにしない」社会実現へ、従来の縦割りの仕組みを解消し、全ての相談を一体で実施する仕組みづくりへ、国は新たな地域共生社会実現のために『重層的支援体制整備事業』を創設した。豊中市CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の活動を参考にしたいこの事業、本市でも早期に取り組むべきだ。

今後、市民のニーズがますます多様化していく中では必要となる事業と考える。豊中市をはじめ先進市の模範事例を参考に調査研究に着手する。

再



『地域共生社会』地域住民や地域の多様な主体が参画し、世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

一重山線について

市報10月号で「千曲市の発展に欠かせない道路一重山線」の特集があったが、一重山を越すルートは決定しているのか。全線完成の目標時期と整備費用は具体的に想定しているのか。

一重山を越えるルートは技術的に難易度が高いため県に支援を依頼している。令和12年度の事業化を目指す。まだルートが決定していないため事業費や期間を示すことはできない。

国道403号線と一重山2号線の交差点改良は、当初県に行ってもらった計画であったが、なぜ市が整備することになったのか。

県へ要望をしてきたが、早期に整備が必要と判断し市で行うことにした。

一重山を越えるルートを含めた一重山線先線の整備を県が行わない場合には、これも市で行うことになるのか。

そのようなことにならないために、県へは引き続き要望していく。

無会派

早志 圭司



動画

乳幼児の医療について

Q 休日または夜間に乳幼児が病気になるたときどうすればよいのか。

A 夜間の場合は平日休日問わず午後7時から翌朝8時まで「小児救急電話相談#8000」にかける。また、子育て応援アプリ「母子モ」のホーム画面右上のメニューから「子どもの救急相談」を選択すると緊急時の情報ツールとして活用できる。

総合運動公園について

Q 子ども連れで行って半日ぐらい遊べるような公園になるのか。

A 白鳥園エリアと戸倉体育館エリアさらに両エリアに隣接する千曲川の河川敷エリアが繋がり、子ども連れで楽しみながら滞在できるような総合運動公園の整備を進めている。

危機管理について

Q 万が一の際、各区・自治会との連携・情報収集等はどうなるか。

A デジタル防災行政無線・戸別受信機・SNSの他、区長・自治会長を対象とした専用メール配信グループを運用している。

【その他の質問】

○新幹線の最終便としての鉄道の連絡について
○仮称「屋代スマートインターチェンジ」と一重山を越えるルートについて
○第3弾ちくま生活応援券について
○戸倉体育館A・Bグラウンドがなくなることについて
○除雪に関する市からの通達について



子育て応援アプリ「母子モ」

デマンド型乗合タクシーの見直しについて

Q 昨年より3路線を追加し、1年が経過した。利用実績を検証すると、デマンドの運行経費負担総額は2342万円。乗車1人当たりの公費負担額は、東部地区3219円、実証運行地区4343円と大変高額である。令和5年度の決算審査で監査委員からも見直しについて検討するよう意見が出されている。費用対効果をどのように改善するのか。

A 高齢者や障がい者、運転免許証自主返納者など交通弱者の方に、必要な時に利用いただけるような事業にするため、坂城町や他市町村の優良事例を取り込み運行方法等見直ししていく。また、「歩行が困難な高齢者が停留所まで歩かなければならない」といった課題もある。この課題解消には「タクシー券」の配布が有効だと考えている。

新政クラブ

堀内 太一



動画

協働事業について

Q なぜ令和6年度の協働事業提案制度の募集がなかったのか伺う。

A 今年度で10年が経過した制度で、応募件数が減少傾向であることや、時代やニーズの変化に合わせた制度全体の見直しを行っていること、そして、類似する他の補助制度との統合も進めていることから、今年度は制度設計年度とし、新規事業の募集は見送ることとした。

今後の協働事業のあり方は。

Q 今後の協働事業のあり方は。

千曲市の文化遺産の周知について

自由政策研究会

和田 英幸



動画

大型事業と財政状況は

Q 今進めている大型事業を進行すると市の財政は破綻し、財政上危機が迫っているのか。

A 自治体財政の健全性を判断する健全化判断比率は国が定める基準を大きく下回っており、数値的にも健全である。関東財務局による財政状況ヒアリングで「注意すべき状況にない」と評価された。

Q 基金を取り崩すと財政破綻につながり危機的状況になるのか。

A 計画的な基金の取り崩しは行財政運営に必要なことであり、本市の基金保有状況から財政破綻には当たらない。

文化伝承創造都市・千曲について

Q 屋代小学校旧本館は明治21年に建築され本年築135年を迎える擬洋風木造建築



屋代小学校旧本館

Q

8月に開園した白鳥園多目的広場には岡本太郎作品「無籍動物」と昭和天皇皇后陛下が散策された日本庭園がある。この2つは千曲市の貴重な文化遺産だ。それを千曲市民はもちろん全国及び全世界へPRする考えがあるか伺う。

A 岡本太郎作品の「無籍動物」と昭和天皇皇后陛下のために造った「日本庭園」は、旧戸倉メリーランド白鳥園の象徴的な存在である。将来継承されるべき遺産（宝）として保存することが重要と考え、順次、説明板などを整備し、そのプロセスをSNS等で情報発信する。



岡本太郎「無籍動物」

であるが、耐震工事及び整備活用内容と今後のスケジュールは。

A 旧本館の耐震改修事業は本年8月に実施設計に着手している。千曲市指定文化財としての価値を損ねないよう配慮した耐震化に加え、今後の活用を見据えた設備等の改修を行う。今後、実施設計の成果を基に、千曲市公共施設個別施設計画に基づき令和7年度から改修工事を予定している。保存活用を進める会からの提案要望については実施設計に反映させる。

【その他の質問】

○小川市長二期目の決意を問う
○品格あるまちについて



動画

教育について

市内学校の働き方改革は。

A 令和5年度の年間時間外勤務は、小学校440時間、中学校509時間。県的小学校485時間、中学校513時間より少ない。

Q 学校での資源回収は教育的意義があるが、資源の回収体制はすでに地域で定着。働き方改革の一環として見直すべきだ。

A PTAが主体の活動で奨励金は学校設備の充実に活用されている。見直しは各学校・PTAが検討すべき。

税の負担について

Q 市内80代の年金生活夫婦が、年金額が上がり非課税から住民税課税世帯になった。夫婦の介護保険料が一気に約2倍になった。健康保険

料も上がり、増えた年金のほとんどが消えてしまった。非課税世帯を対象とした経済対策からも外れ、実質マインスだ。市として何らかの手立てはないか。

A 所得に応じた負担で介護保険制度を支えている。第9期計画期間中は保険料の見直し等は考えていない。

高齢者等の豊かな暮らしのために

Q 高齢者の外出目的の1位は買い物だ。東御市では今年度より、大手ドラッグストアが移動販売を始めた。毎週1回公民館や高齢者施設など計約38カ所を回り、オンラインで服薬や健康・栄養相談にも応じてくれ、公共料金の支払いも可能だ。千曲市でも導入の検討を。

A 地域のニーズや事業者の採算性が重要。地域や事業者からの要望があれば、調査する。

【その他の質問】

○千曲かるたの活用は
○就学援助費は十分か



動画

市民ファーストの市政運営について

Q 旧態依然体質の改善をどのように行うか。

A 市民の気持ちになって考える「想像力」と前例踏襲でなく創意工夫で取り組む「創造力」を磨き、「すべては市民のために」を基本理念に、雰囲気の良い職場づくりを心掛ける。

Q 「お出かけシェアートーク」の参加者が少ないが。

A 若い世代や子育て世代、曜日、時間設定などに配慮する。

新戸倉体育館建設について

Q 決定した規模とPFI方式の説明を求める。

A 財政規律を維持し価格高騰に対応するため、現在の戸倉体育館と同等規模にせざるを得ない。従来の公共事業では設計を市で行い、工事については建築、電気、機械設備等の複数の入札を行い、維持管理・運営は指定管理者を募集するなど煩雑な手続きが必要。業務工程ごとに契約するので、一部で入札が不調になると竣工時期が遅れ事業費が増大となる。PFI方式は包括した一つの契約、発注となり手続きが簡素化する。設計時点から維持管理・運営を踏まえた設計を行い、民間事業者のアイデアを発揮することでコスト削減も見込める。

Q 利益追求による弊害の懸念はないか。

A 利用料金は事業者公募の際に条件を付ける。市が事業内容のモニタリングを行い、業務内容が水準を満たさない場合は正勧告し、更には対価の支払い停止、契約解除なども想定している。

【その他の質問】

○観光振興について
○ふるさと納税の活用について



動画

二期目の小川市政について

Q 懲戒処分過程は。

A 関係職員等から事実確認を行い、職員懲戒処分審査委員会を開催し、懲戒処分等の指針に基づき、行為の動機、態様及び結果、過失度合いの程度、社会的影響、過去の処分事例、他市の処分事例等を参考に、場合により顧問弁護士の見解を聴き、処分決定をしている。また、今年度制定した「千曲市職員不祥事防止行動指針五箇条」を再認識し、意識の向上に努める。

子育て支援について

Q フリースクール利用者への支援は実施するのか。

A 千曲市においても、不登校児童生徒が多様な学びの場へ通うことを支援するため、



動画

オーガニック給食実現を

Q 12月6日、第二学校給食センターにおいて、千曲市産有機野菜を使用したオーガニック給食を提供した。今後第一学校給食センターも含めて、継続的な提供予定は。

A 有機野菜の確保に苦慮しており、安定供給が課題。有機野菜の一部使用も含め、実施できるよう努める。

フリースクールへの支援を

Q 義務教育は不登校であつても教育を受ける権利があるため、保障していく必要がある。千曲市内の不登校児童生徒数と、フリースクールへの支援はどのように行われているか。

A 不登校の小学生69人、中学生119人。フリースクール運営費用の支援は行っていないが、フリースクール

利用家庭等支援制度を令和7年度実施に向けて検討している。

給食費段階的無償化、医療費の完全無料化は

Q 市長選の公約に掲げ当選したが、どのように実施するか。

A 給食費を無償化する時期は定まっていない。18歳以下の子どもの医療費完全無料化は、令和7年8月から実施する予定。

男女共同参画計画の推進について

Q 千曲市審議会等の女性委員参画率は33・1%。防災会議は女性2人で10%、国民保護協議会は2人で83%、伝統的建造物群保存地区保存審議会は1人で91%、地域交通活性化協議会は2人で83%。日本遺産推進協議会は0人と特に少なくなっているが対策は。

A 選出団体に女性参画配慮依頼のチラシを同封したり、担当課で、委員の構成や人数などの設置規程など検討していく。

一志会

吉池 明彦



動画

一期目の「所信表明」の進捗と成果について

基本方針にある通り、前例主義・権威主義で既得権を守る市政でなく戦略的にスピード感を持って事業推進することができたか。

定期的に「マネジメント戦略会議」にて理事者と進捗や課題を共有し推進した。一人ひとりの職員の能力発揮ができる環境を整え、新しい発想と結果も重視し、丁寧な説明や市民サービスにも鋭意努めた。

変化に対応できる組織改編に努めたか。

「上山田戸倉出張所」の開設、「危機管理部門」、コロナ対応に「感染対策室」、公民連携事業の推進に「公民共創推進室」を配置する等、変化に即応した組織づくりに努めた。

二期目の「所信表明」の方針と取り組みについて

選挙戦を通じて正しい情報が伝わっていないことが分かったとある。具体例と今後の対応は。

相手候補からの批判である、市の財政状況が大型事業の集中で基金が取り崩され財政破綻する旨の内容を信じている市民が多い印象があった。また財源内訳として国庫支出金等裏付けも市報等で伝えてきたが総事業費のみが強調され、市の実質負担額までは伝わっていない印象もあった。今後はより財政状況が分かり易い方法を鋭意研究する。

地域のブランド化のため、観光地として必要な整備とは。

一例として、姨捨棚田の「ビューポイント」整備で、県が県道改良、市が駐車場、トイレ等の整備を行い観光振興に繋げる。

【その他の質問】

○道路インフラ整備事業について
○令和7年度予算編成について

一志会

田中 秀樹



動画

稲荷山・重要伝統的建造物群保存地区について

稲荷山・重伝建は選定10年の節目を迎えた。平成26年に策定した「保存計画」の内容は進んでいるか。

本年度までに伝統的建造物の修理を17件、伝統的建造物以外の修景を3件、計画的に実施してきた。一方、必要な施設の整備など、地区全体の環境整備については成果が上がっているとはいえない状況である。保存計画の実現に向け、今後は庁内の連携や地域住民との意思疎通を十分に図り、事業を進めていく。

昨年度、稲荷山活性化を目指す事業の中で、ふる里漫画館を会場にタイ発祥の格闘技であるムエタイの体験イベントが開催された。その意図は。

新政クラブ

中村 眞一



動画

一部事務組合等の大型公共事業における千曲市の負担金を尋ねる

長野広域連合の「ちくま環境エネルギーセンター」が令和4年6月竣工したが、千曲市の負担金は。

建設工事費は約92億2千万円だが「ながの環境エネルギーセンター」、「エコパーク須坂」を合わせた3施設の令和5年度の千曲市の建設負担金は約1億6500万円、管理運営費負担金は約1億2500万円である。

「葛尾組合リサイクルセンター」は令和6年4月から令和9年3月までの工期で進めているが千曲市の負担金は。

建設費は約45億9千万円で、現段階での千曲市の建設負担金は20年間にわたり年間1億円、運営管理費は最大

A

従来の枠にとらわれない公共施設の使い方を行政自らが実践することをコンセプトに、「アイデア次第で何でもできる」という機運の醸成を狙った。

稲荷山宿・蔵し館は、改修のため令和4年7月から令和8年1月頃まで長期休館となっている。もともと入館者数は伸び悩んでいたが、休館明けの展望はあるか。

改修工事完了後は、休館前にはなかった重伝建の紹介に関する展示を取り入れ、「鍵の手」に計画されている拠点施設完成までの間、見学者への案内施設として活用を図っていく。



稲荷山・重伝建の街並み

で年間約1億4600万円である。

千曲衛生センター更新計画は、既に建設新聞等で報じられているが。

「千曲衛生センター施設更新検討委員会」から検討結果が報告されたが、当該組合議会においても、施設建設費等が高額になるため、施設の広域化、集約化に向け検討すべきとされ、組合並びに構成市町で更なる検討を始めた。

「上田長野地域の水道事業の広域化」の議論が進んでいるが、費用見込が倍増され、不安材料が多いため慎重に検討すべきと思うが。

当初の費用概算は570億円。令和4年以降、物価上昇やルート等の再検討や工法精査の結果、約1100億円に増加した。事業統合により耐震化等の基盤強化や災害に備えた送水管の二重化も進め、水道料金の値上げ抑制を図る。

委員会視察調査報告

経済建設常任委員会

和田 英幸

10月23日（安来市）

本年9月に事業化された安来スマートインターチェンジは、国土交通省の補助制度や社会資本整備総合交付金を活用しながら事業を進めている。アクセス道路整備は地元負担となるが、地域住民や企業、観光車両・救急車両などの利便性、地域経済・産業振興などに期待をしている。周辺の開発は民間事業者主体で市が協力しながら進めていることがわかった。

10月25日（安芸高田市）

安芸高田市では地域おこし協力隊員が地元に移住するために、魅力ある募集ミッションの内容を用意している。また面談を月1回行うほか、メールやズームを使った悩み事相談などのコミュニケーションを日頃からとっている。こうした行政への相談しやすい環境が協力隊員の定着率につながっていることがわかった。



広島県安芸高田市



島根県安来市

総務常任委員会

滝沢 清人

11月11日（益城町・南阿蘇村）

熊本県益城町へ。8年前の熊本地震で最も甚大な被災地だ。3日間で震度7が2回、震度6強2回、6弱3回と合計7回もの大きな揺れで家屋の98%が倒壊など被災した。改めて大地震が複数回繰り返す脅威を感じ、家屋の「旧・新耐震基準」「新耐震2000年基準（耐震等級1〜3）」周知の必要と、「その時どうする！」の地震対策行動指針の必要性を強く感じた。南阿蘇村では昨年オープンした「震災ミュージアムKIOKU」を見学、巨大地震の破壊エネルギーに圧倒される展示館だ。

11月12日（山鹿市）

山鹿市へ。当市は平成27年より市民課窓口業務を民間委託している。目的は「市民サービスの充実とコスト削減」であった。今後行政DX化が進展する中で参考にしたい。



熊本県山鹿市



震災ミュージアムKIOKU

市の基金は増えているのか

Q 小川修一後援会のチラシに4年間で約21.9億円の増額（積み増し）ができていたとあった。それは本当か。

A 数字として「増えている」という事実を知らせた。

Q 財政の健全性を見る一つの尺度である積立金残高比率は50%程度が適正と言われるが、千曲市は令和3年度から85.2%、90.9%、82.7%と異様に高い。積み増し（貯金）が増えるのはよいことだが、市の場合本来やるべきことをやらずに貯金しているとも考えられる。家庭に例えると、食べるものも食べずに貯金しているとも言える。市民サービスの費用を削っているのか。市民のためのお金を削ってハコモノに回しているのか確認したい。



積立金残高比率（積立金残高／標準財政規模）令和5年度82.7%。高すぎると思われる

A 署名については、今が好機であると判断した。「『発展させる会』は、市の一般事務に該当しない。（無回答）」

【その他の質問】
○稼げるまちにする政策は
○市職員の人事異動とモチベーションについて

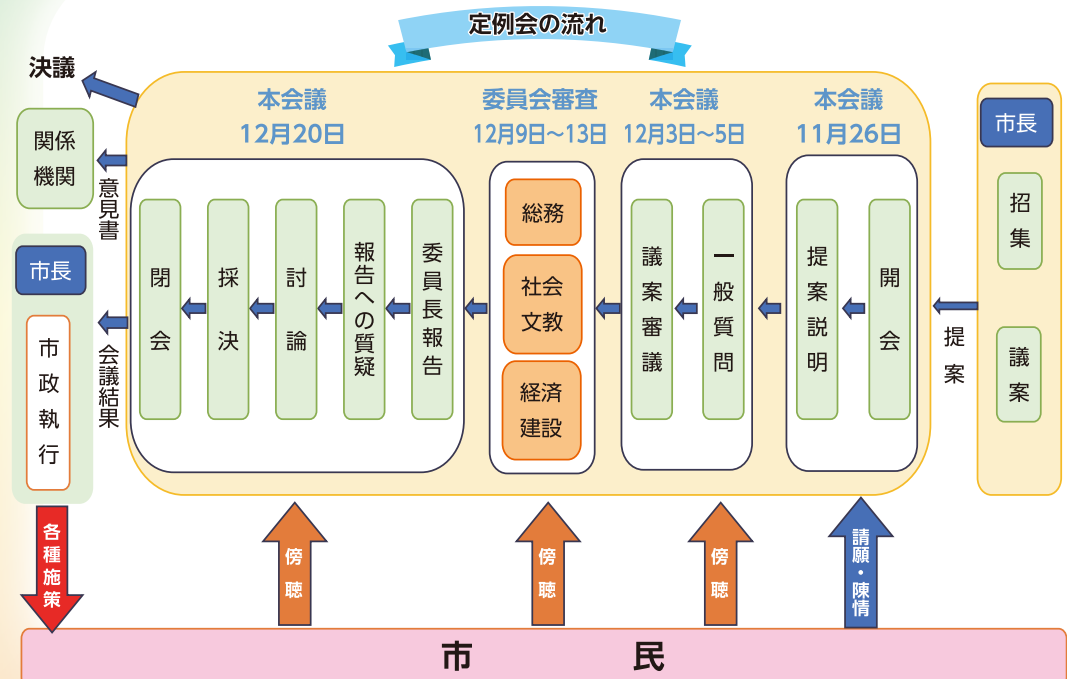
A 見解の相違と認識している。予算は議会で認められたものを実行している。

Q 千曲市に2つの高校を求める署名活動について

Q 2年前から市民団体が署名活動を求めてきたが、なぜ今から始めるのか。オール千曲で取り組んできた『屋代南高校を発展させる会』に連絡、報告がないのはなぜか。

議会のいろは

今回は12月定例会を参考に定例会の流れをご紹介します。





徳原 敏昭さん
(稲荷山)

重要伝統的建造物群保存地区の整備を

かつては商業地として栄え、蔵の街として発展した稲荷山ですが、今では疲弊化の一途を辿っているのを事実として認識せざるを得ません。バイパス通過を見定め、街並み整備により交流人口の増加を図り購買力を高める地域的な取り組みが大きな課題です。

重伝建地区に選定され十年が経過しますが、明確な進捗状況が見えず住民の意識から薄れつつあります。地域活性化の一案として、稲荷山といえば「祇園祭」が知られているので、街並み整備の中核として「祇園祭祭具の展示施設」の設置を計画してはどうでしょうか。

祇園祭祭具には慶応神輿を筆頭に勇獅子と屋台、四神、宝船等々あり、この展示を常設して祭囃子で来訪者を迎え、地域を知っていただく「祇園会館」の常設です。

電柱の地下埋設や大型バスの駐車場整備等課題は山積しますが、実施目標が見えれば区民も協働して取り組むことができます。

次回 3 月 定例会予定

(会期 26日間)

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17 本会議 開 会	18	19	20	21	22
23	24	25 本会議 一般質問 (代表)	26 本会議 一般質問 (代表)	27 本会議 一般質問 (個人)	28 本会議 一般質問 (個人)	3/1
2	3 総務	4 総務	5 社会文教	6 社会文教	7 経済建設	8
9	10 委員会 経済建設	11	12	13	14 本会議 委員長報告 討論・採決	15

※議事の都合により、日程が変更される場合があります。

議会を傍聴しよう

本会議・委員会ともにごなたでも傍聴できます。

市役所 5 階の傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。



議場までの行き方

議会だよりについてご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、読者アンケートを実施します！

右記コードを読み取り、アンケートにご回答ください。

みなさまの貴重なご意見をお待ちしています。



アンケートはこちら



小川市政 2 期目がスタート。7 月市議会議員選挙や 10 月市長選挙もあり、12 月定例会は、令和 5 年度決算認定や補正予算等が主な議題でした。小川市政 1 期目の評価や、2 期目への政策提言などの論戦がありました。議場での傍聴、テレビや有線放送での視聴、議会だよりをご覧ください、市民の皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。一般質問の記事には、今回から二次元コードを付加し、議会だよりの改善をしました。

(柳澤眞由美)

議会広報特別委員会

委員長 田中 秀樹
副委員長 林 慶太郎
委員 柳澤眞由美
川嶋 敬信
中村 恒彦
宇田川弘子
堀内 太一
坂口 吉一